

備前市事務事業評価表

事業の概要			
事務事業名	児童扶養手当給付事業等	コード	02-01-02-01
事業開始年度	ひとり親家庭等医療費52～、児童扶養手当53～	根拠法令・要綱等	児童扶養手当法他
総合計画	大項目 基本目標 健康でやさしさあふれるまちづくり	担当課(室)	こども課
	中項目 基本施策 やさしさあふれるまちづくり	職・氏名	こども福祉係長 藤田 政宣
	小項目 施策 子育て支援	電話	0869-64-1825

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	児童扶養手当・・・児童(18歳までの者又は20歳未満で一定の障害の状態にある者)を監護する母等 助産施設措置事業・・・経済的な理由により入院助産を受けることができない妊産婦 産後ケア事業・・・市内に住所を有する産後(義務教育終了前の児童) 交通遺児見舞費支給事業・・・交通事故によって両親を亡くした児童 ひとり親家庭等医療費給付事業・・・配偶者のない者であって18歳未満の者を有する者及びその児童
目的(何のために)	ひとり親家庭等の福祉の増進と自立支援に寄与する。
行政活動(どのような方法で)	医療保険に基づき医療を受けた場合に、自己負担をしなければならない費用の一部を公費で負担(医療費給付事業)したり、扶養手当を支給する。また、遺児に対し遺児奨励金(入学・卒業・奨励金、保護者死亡見舞金)等を支給する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	制度を周知し支給漏れのないようにする。

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業の実績				
実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
児童扶養手当受給者数	人	258	259	262
助産施設措置者数	人	1	0	1
遺児奨励金支給者数	人	10	6	7
交通遺児見舞費支給回数	回	1	1	1
ひとり親家庭等医療費支給者数	人	571	545	537
活動実績				
事業費				
直接事業費	千円	110,559	124,857	123,432
人件費	千円	6,441	5,628	4,586
事業費計		117,000	130,485	128,018
財源	千円			
国県支出金		80,531	44,425	38,288
受益者負担				72
市				
一般財源		36,469	86,060	89,658
必要人員	人	0.77	0.78	0.62
結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
児童扶養手当受給者数	説明	児童扶養手当の受給資格がある者(所得制限などで支給停止となった者以外)		
結果指標量	人	258	259	262
対前年比	%	-	100.4%	101.2%
活動コスト	円	100,947,278	116,635,812	116,340,829
単位当たりコスト	円	391,269	450,331	444,049
ひとり親家庭等医療費支給者数	説明	ひとり親家庭等医療費の受給資格がある者(所得制限などで支給停止となった者以外)		
結果指標量	人	571	545	537
対前年比	%	-	95.4%	98.5%
活動コスト	円	11,246,314	10,905,578	10,963,589
単位当たりコスト	円	19,696	20,010	20,416

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事業の成果			
成果指標名	受給者数等	式又は説明	申請漏れのないよう対象者を把握する。
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	841	811	808
対前年比		96.43%	99.63%
到達目標値	100%	到達目標年度	毎年

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A-E>	C
妥当性の評価	目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令) <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	課題認識
	対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	児童扶養手当給付事業・助産施設措置事業・ひとり親家庭等医療費給付事業については、国、県の制度に則して実施している。 遺児奨励費支給事業等については、遺児の健全な育成と福祉の増進を図るために必要な制度である。
	行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法は無い	
	事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない <input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である	
	市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	効率性評価<A-E>
	手段	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	課題認識
	職場	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	コストの殆どは国、県の制度に則して行うもので、削減は困難である。
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A-E>
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	母子家庭等の福祉の増進や自立支援のために必要な制度であるため、関係各課と連携を密にしながら対象者の把握をし、対象者がすべて申請できるよう努める。

平成20年度の状況		説明 交通遺児見舞費等事業については、寄附金を財源に同額を社協に支出しているが、対象者の把握が困難なこと等の理由により見直す必要がある。
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量 児童扶養手当給付者数262人	結果指標量 ひとり親家庭等医療費給付者数537人
	成果指標量	100%

総合評価		評価区分 <A-E>	C	
国の制度に則して処理しており、対象者の把握にも努力している。				

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果